

みんなで乗って守ろう! 公共交通



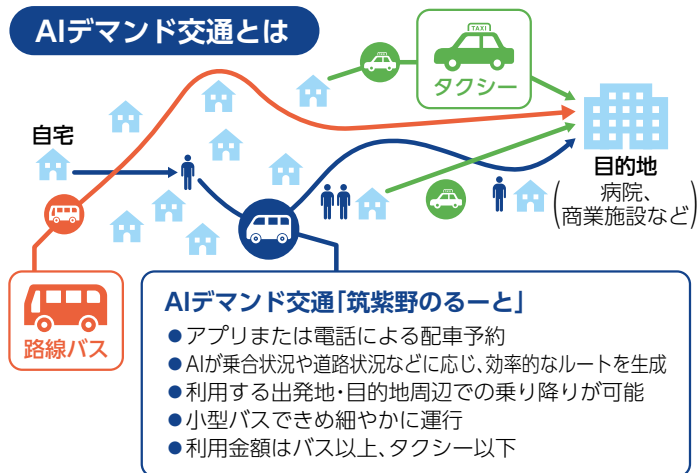
マイカー利用の増加や、人口減少により全国的にバス利用者は減少しています。利用者が減ると採算がとれず、路線の廃止や減便などの可能性が出てきます。公共交通を存続していくためには一人ひとりが利用することが大切です。

地域の生活を支える公共交通をみんなで守り、未来につなげましょう。

問 企画政策課



AIデマンド交通とは



筑紫野のるーとが、地域の新しい「移動」を支えます

利用者数の低迷などを背景とした路線バスの廃止で生まれる「交通空白」に対応するため、AIデマンド交通「筑紫野のるーと」の運行を開始しました。

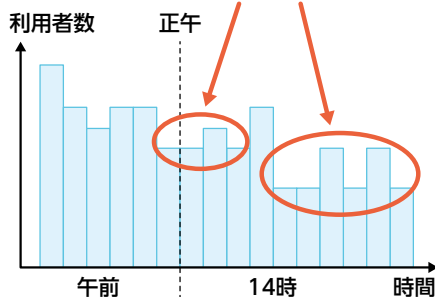
筑紫野のるーとは、路線バスとは異なるサービスです

筑紫野のるーとは、決まった時間・ルートを走り大量輸送のできる路線バスと違い、予約に応じて運行するサービスです。

バス利用者が少ない地域でも、AIが効率的なルートを選んで運行することから、持続可能な新しい公共交通として期待されています。

予約時のポイント

正午前後・14時以降は、利用者が少なく、比較的待ち時間が少なく利用できます。



※直前の予約も可能ですが、既に他の予約で埋まっている場合があります。事前の予約がおすすめです。

早めの予約がおすすめです

通院や買い物など予定が決まっている場合は、早めに予約しましょう。

特に午前中の通勤・通学・通院時間帯は利用が集中しやすく、希望の時間に予約が取りにくくなる場合があります。

時間に余裕を持った利用をお願いします

筑紫野のるーとは利用者同士の乗り合いにより運行しています。そのため、道路状況や他の利用者の予約状況によって到着時刻が遅れることがあります。

重要な予定がある場合は、少し早めの時間帯での予約をおすすめします。

筑紫野のるーとは、地域の移動を支えるとともに、将来にわたって公共交通を維持していくための新しい取り組みです。今後もサービス改善を進めながら、より使いやすい交通手段をめざします。地域の大切な移動手段を次の世代へつないでいくために、本サービスの特性への理解と多くの活用をお願いします。

詳しくはこちら



御笠地区をこまやかに巡る、地域の人が支える公共交通 御笠自治会バス



▲スクールバスとしても運行しています

御笠自治会バスは運行を開始して8年で、5月に累計利用者が10万人を超えました。御笠自治会バスを運行しているのは、御笠まちづくり協議会です。地域の人が運転手を務め、安全運転を徹底しています。これからも地域で支え、地域に愛される公共交通として活躍します。



▲アルコール・体調チェックを徹底



▲運転手から地域活動デビューした人がたくさんいます

公共交通が便利な筑紫野市

市内を巡回するコミュニティバス「つくし号」は、令和8年度中の両回り化をめざし、さらに使いやすくなる予定です。



市内にはJR、西鉄の駅が9カ所あり、その周辺には商業地・住宅地が広がっています。



九州自動車道や、国道3号、福岡県道17号・35号・112号など、幹線道路が整備され、高速バスや路線バスで東西南北に自由に移動できます。

運転免許証の自主返納などを支援しています

高齢者の運転による交通事故を防ぐため、運転免許証の自主返納などを支援しています。

対 次の①～③の条件を全て満たす人(既に支援を受けた人は除く)

- ①令和2年4月1日以降に運転免許証を自主返納または更新を受けず失効した人
- ②自主返納または失効日において70歳以上の人
- ③自主返納または失効日において市民で、申請日においても市民である人

●申請に必要なもの

- ①申請書(窓口に設置)
- ②本人確認ができるもの(マイナンバーカードなど)
- ③次の書類のうちいずれか1つ(原本)
 - ▷自主返納時に発行された「申請による運転免許の取消通知書」
 - ▷運転経歴証明書
 - ▷運転免許経歴証明書

※代理人が申請する場合は、委任状と代理人の本人確認ができるもの

●支援品 次の3つから選択できます。

- ▷コミュニティバス回数券10,050円相当
- ▷御笠自治会バス回数券10,000円相当
- ▷ニモカ(交通系ICカード乗車券)10,000円相当(うち保証金500円含む)

申問

- ▷自主返納をした人などへの支援 危機管理課
- ▷免許証の自主返納の方法 筑紫野警察署交通課

☎(929)0110